

〔グループ研究 報告〕

「グループ研究」だより

1977年度に発足したグループ研究「『資本論』と現代資本主義をめぐる諸問題」（略称「資本論研究会」——坂牧三郎代表以下12名）は、順調な展開のもとに2年目を迎えたが、現在、会員相互の固有の研究を深めることを目的として、1カ月に1回の定例研究会と年に2回の合宿研究会を行っている。定例研究会では『資本論』の講読が中心であり、合宿研究会では各自の固有の研究テーマの報告をめぐって討論が行われている。本年度もすでに2回の合宿研究会が行われたが、そのテーマは次のようなものであった。

<第1回> 4月4日～5日 湯島会館

シンポジウムⅠ 「過剰資本（資本のプレトラ）——その理論と歴史——」

1. 過剰資本形成の論理——『資本論』第3巻第3篇第15章をめぐって

矢 吹 満 男

2. 過剰資本の処理と独占の成立——「大不況」期＝「独占形成」期のアメリカ鉄鋼業を中心に——

溝 田 誠 吾

シンポジウムⅡ 「マルクスと現代」

1. 経済史における現代的課題
2. 経済理論と現代の課題
3. わが国における卸売流通の構造と課題
4. シュンペーターの資本主義観

泉 武 夫

沢 野 徹

田 口 冬 樹

池 本 正 純

<第2回> 9月23日～24日 箱根保養所・青風荘

シンポジウム 「産業資本確立期イギリスにおける政治と経済」

1. J. S. Mill の統治論
2. イギリス工場法の形成過程
3. アダム・スミスの「経済表」——『国富論』第2編の理論構造との関連で——

小 沼 堅 司

常 行 敏 夫

酒 井 進

<編集後記>

「戦争行為の開始後又は宣戦布告の効力の生じたる後、十時間以内に次の処置をとるべきこと。即ち左の各項に該当する者を最下級の兵卒として召集し、出来るだけ早くこれを最前線に送り、敵の砲火の下に実戦に従わしむべし。

1. 国家の元首、但し君主たると大統領たるとを問わず。尤も男子たること。
2. 国家の元首の男性の親族にして16才に達せる者。
3. 総理大臣、及び各国務大臣、並びに次官。
4. 国民によって選出されたる立法部の男性の代議士。但し戦争に反対の投票を為したる者は之を除く。
5. キリスト教又は他の寺院の僧正、管長、その他の高僧にして公然戦争に反対せざりし者。上記の有資格者は、戦争継続中、兵卒として召集さるべきものにして、本人の年齢、健康状態を斟酌すべからず。但し健康状態については召集後、軍医官の検査を受けしむべし。

上記の有資格者の妻、娘、姉妹等は、戦争継続中、看護婦又は使役婦として召集し、最も砲火に接近したる野戦病院に勤務せしむべし」（淮陰生著 一月一話 読書こぼればなし 岩波新書 16, 17ページ）というデンマークの陸軍大将フリッツ・ホルムなる人物の提案を長谷川如是閑が「我等」誌の昭和4年1月号に載せていた、と淮陰生氏が書いている。続けて「もつとも、フリッツ・ホルム大将など聞いたこともないから、おそらくこれはユーモリスト如是閑の戯文ではないか」と疑い、「死の商人、軍需産業の大物だけが免かれているのは大いに遺憾だが」とある。

しかし、「ノウ」な調子でつけ加えると、「言論、評論、漫画にて口を糊する者（大学人その他の教育関係者をふくむ）および新聞、雑誌その他の出版事業を主催する者ならびにこれに盲従する者、またはやり歌の作詞者、歌手などにして、その思慮の深淺、故意または過失の有無のいかんを問わず、戦争行為を讃美、謳歌する者ども」もふくめてはいかが、と考える。

なお、さきごろフルンチョフⅡ世の来日で、巷間、「もう喋ってくれるな！ 休ませてくれ！」という声が聞かれたものだが、因みにいえば、ロシア語で「おしゃべり」という名詞は「揺すぶり、揺きまぜる」という動詞からきている。為念。 (池田)

神奈川県川崎市多摩区生田4764 電話 (044) 911-8480 (内線33)

専修大学社会科学研究所

(発行者) 大友福夫
